

ハモコミ通信は①②と毎月2回、メール配信させていただいております。①のほうはホームページでも公開しておりますとおり、A4版1枚のペーパー版も作っています。何かを郵送するついでに同封するようにしています。

HP上のバックナンバーも、このペーパー版のみ都度公開しており、②のほうは1年分まとめでの公開とさせていただいております。

遅くなりましたが、2011年②特集、どうぞお楽しみくださいませ。

ハモコミ通信 2011年10月号②

◎ 自らを誇らず

人は得てして、成果が上がったことに関しては自分を誇り、その逆に失敗や上手くいかなかったことに関しては、人のせいにしてしまう弱さを持っています。

本田技研工業を創業した本田宗一郎氏は晩年に、「一番後悔したことは、自分の会社に『ホンダ』という名前をつけたことだ」と語っていたといえます。会社は一人でつくったわけではなく、皆でつくったのであるから、いつまでも本田と言っているのは恥ずかしいと思っていたのです。本田氏は自身の子を後継とせず、また三代目の社長就任パーティーには参加しませんでした。参加しない理由を問われた時に、「私が行ったら、みんな私に寄って来る。今度社長になった人に失礼ではないですか」と答えたそうです。世の中に名を馳せる大きな事業を行なったにもかかわらず、自分を誇らず常に泰然自若としているところに、多くの人は大きな魅力を感じるのでしょう。

自分を認めてもらいたいと思う欲求は、誰しも少なからずあります。しかし、多くの仲間たちに支えられていることにも、思いを馳せてみたいものです。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

本田宗一郎さんは、葬儀も家族だけで行ったそうですね。公にすると渋滞が発生して社会に迷惑をおかけする

から、という生前からの願いだったと聞きました。大人物は大胆かつ繊細。参りますね。

◎ 心を通い合わせる

職場において、スムーズな人間関係を築く努力は、重要な要素です。「言いたいことが言い合える」「阿吽の呼吸で動き合える」など心を通い合っている時、見事な仕事の出来栄を生み、その処理スピードも高まるのです。反対に、心を通い合いにくくなっている時は、誤解が誤解を生むように、あらゆるタイミングがかみ合わなくなり、投げやりな言動も多くなりがちです。とはいえ、初めからスムーズに、心を通い合っている関係はありえないでしょう。また、心を通い合にくい原因を相手のせいにして責めても、人間関係の悪循環を招いてしまうでしょう。

では、良好な人間関係を築くにはどうすればよいのでしょうか。まず、お互い不完全な心を持つ者同士という認識が必要です。次に仕事の目的を見失わないことです。最後に、相手を変えようとする前に自分の言動を変えていくことです。人間関係がスムーズにいかない時こそチャンスと捉え、そこから新たな道を探る時、職場環境は整えられ、目的を共有しながら発展させていけるのです。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

お互い不完全であるということを受け容れる。これが肝です！ ついついこれを忘れて相手を責めがちですが、自分だってあれこれ出来てないことが多いのです。身に沁みちやいます。

ハモコミ通信 2011年11月号②

◎ まず動いてみよう

<やらなければいけない>とわかっている、なかなか物事に着手できない場合があります。仕事の締切日が迫ってくると、時間ばかりが過ぎていき、焦ってしまうものです。そうした時に、一歩進む手立てとなる先人の言葉があります。

「ひとたびペンなり鋏なりを手にして、最初の一字を書くなり、あるいは、一打ちをするなりし

てしまえば、事柄はすでに、ぐっとやさしくなっているのである。『幸福論』の著者、カール・ヒルティの言葉です。そして、「ところが、なかなか手をつけず、準備ばかりしている人がいる。切羽詰ると、気ばかり焦って、いよいよ仕事が手につかない。そういう人の背後には怠惰が隠れている」と続きます。

物事がなかなか進まないときは、とにかく一歩を踏み出して、動いてみるのが大事です。着手しているうちに、何か見えてくるものがあります。動くことで、結果は後からついてくるのです。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

一旦動きだしたら自然に動いていく、確かに、「仮」だろうとなんだろうと、着手することですよね。動く助け舟がやってくる、そんなイメージをなんとなく持っています。

◎ 改札口での出来事

朝の通勤時のことです。駅の自動改札口を通ろうとした A 子さん前で、ある女性が IC 定期券を改札機にタッチして通過しようとした。ところが、タッチする時間が短すぎたのかその瞬間、警告音が鳴り改札口のゲートが閉まりました。すると、女性は苛立った様子で、手にしていた定期券を改札機に思い切りたたきつけて、通過して行ったのです。

一部始終を見ていた A さんは、その女性のあまりにも乱暴な振る舞いに驚き、ひどく不快な気分を襲われました。A さんは、<不快感をこのまま職場に持ち込んではいけない>と思い、<この出来事から、何を学ぶことが出来るだろうか>と、自己に問いかけてみました。そして、マイナス感情を露にすることの上品さと、八つ当たりすることの醜さに思い至りました。A さんは、<私も同じようなことをしてきたかもしれない。こうしたことはやめよう>と心したのです。A さんは不快感が消え、スッキリした気分職場へと向かったのです。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

ひとの振りみて我が振り直せ、という故事を思い出しますね。相手を直す前に、まずは自分を省みる。他人との関係ではすんなりできても、夫婦間となると・・・。

ハモコミ通信 2011 年 12 月②

◎ 寒さに感謝する

冷え性で寒さが大の苦手な K 子さん。子供の頃から<冬が来なければいいのに>と思うほど、冬が近づくと共に心も体も縮こまっていました。それによって、仕事や家庭生活にも支障をきたすほどでした。つらそうな様子の K 子さんを見かねた祖母は、「嫌うものには悩まされるよ。寒さを嫌わずに、むしろ寒さに感謝して喜んで受け入れてごらん」と諭してくれたのです。さらに「嫌っていると、いつまでも苦しめられる」「冬の寒さは大自然の大きな恵み」と教えてくれ、考えてもみなかった内容に K さんはハッとしたのでした。

その日から「寒さよ、ありがとう」と感謝の言葉を出すようにしました。すると、あれほど辛かった寒さが、それほど<寒い>と感じられなくなったのです。その年の冬、K さんは初めて苦痛を感じずに過ごすことができました。

祖母の教えを通して、嬉しい冬の体験ができた K 子さん。今年の冬も喜んで寒さを迎えようとしています。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

嫌っていると、いつまでも苦しめられる、まさにその通りですね。誰の言葉だったか忘れましたが、こんな表現を使っている人もいました。<天は、その問題がクリアされるまで、その人に、何度も何度も同じカードを配るんですよ>カードとは、その人にとっての「問題」です。「その人にとって問題が問題でなくなったとき、二度と同じカードは配られないんですよ」と。上司とのトラブルだったり、金銭トラブルだったり・・・。

私にも経験があります。若い頃、よく交通指導取締りのお世話になってました。あるとき心を入れ替え、自分の中にしっかりとした基準を持って運転するように決めて以来、ほとんどお世話にならなくなりました。

きっと、問題をクリアするたびにどんどん高度なカードが配られるようになり、それとともに成長していくのでしょうか。

◎ 決心は九分の成就

文家具の設計・製作を手掛けるA社では、新入社員が入社してくると一風変わった儀式を行いません。それは男性も女性も皆丸坊主になることです。さらに4年間は寮に住み込み、携帯電話、親との面会、恋愛は一切禁止という環境で、木工職人になるための業が行なわれます。一見、時代錯誤と思われがちですが、木工職人となるために覚悟を決めるためのものです。

誰しも、慣れ親しんだ環境から離れると、不安な気持ちになるのは当然でしょう。アパレルメーカーの事務職員として9年間勤務していたEさんは、営業部への異動を命じられ、戸惑っていました。営業部では、聞くのも目にするのも初めてのことばかりで、不安な気持ちが先行します。それに呼応するかのごとく、仕事でミスが目立っていきましました。そんな矢先、テレビを見てみるとA社の入社の様子が放送されていたのです。二十歳前後の青年が頭をバリカンで刈られている姿を目にし、Eさんは仕事への腹のくくり方、心の決め方の甘さを痛感したのでした。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

腹をくくる、というとき、決心というよりは決断、という言葉を使うようにも思います。決めて断つ！ いったん決めた以上は、退路を断ち、自分の中に現れる言い訳、ゆるいほうに逃げたい気持ちに自ら歯止めをかけるワザですね。それが嫌で野球部には入りませんでした(●^o^●)

心においしい冬ギフト WINTER GEFT ●
2011NIPPON
今年のお歳暮 よろしかったら 壱岐産業でテーマは、「見直そう！ ニッポンの良いところ。」アイテム数 866 点。東北復興応援ページもごさいます。